

Vision 2030
Stagell
FY2027-2029

Vision 2030
Stagell
FY2024-2026

新中期経営計画「Vision 2030 Stagell」、始動。
全ての事業を収益の柱へ。

パーパス
化学技術で
より良い生活環境の実現に
貢献し続ける

2050年ありたい姿
健康で心豊かな暮らしを
実現し、
人と社会から愛される
グローバルな会社

Vision 2030
独創・加速・グローバル。
化学の力で暮らしを変える。

Vision 2030
Stagel
FY2021-2023

パーパス

化学技術で
より良い生活環境の実現に
貢献し続ける

Stagel
FY2021-2023

Stagell
FY2024-2026

Stagell
FY2027-2029

Vision 2030

独創・加速・グローバル。
化学の力で暮らしを変える。

III 企業理念

基本理念

「社会」、「生命」、「環境」に
貢献する。

株主、顧客・取引先、
地域社会、従業員を
大切にする。

遵法精神を重んじ、
透明な経営を行う。

行動基準

- 社会から信頼される事業活動を行うため、社会規範、法令、会社の諸規定を遵守し、高い倫理観と良識をもって行動する。
- ものづくりに際しては、地球環境との調和を図り、常に安全確保に万全を期し、無事故・無災害に努める。
- 相互協力、相互理解により人権を尊重し、風通しのよい働きやすい職場をつくる。
- 企業活動の透明性を保つため、企業市民としてコミュニケーションを重視し、企業情報を適時、的確に開示する。

2050年 ありたい姿

健康で心豊かな暮らしを実現し、
人と社会から愛されるグローバルな会社

ありたい姿を実現するための3つの取り組み

挑戦・革新

社会を創造

組織・人の進化

Vision 2030

独創・加速・グローバル。化学の力で暮らしを変える。

||| Vision 2030 経営目標

営業利益

240 億円

想定売上高

1,800 億円以上

ROE

10%以上

安定的な
株主還元継続

持続可能な社会に貢献する事業活動により、
企業価値を向上する。

メガトレンド

気候変動 資源不足と食糧問題 都市化
ITの急速な発展 世界人口増と高齢化

ステークホルダー

株主・投資家 地域社会
顧客・取引先 従業員

||| 提供すべき価値と取り組み

有機化学事業

顧客の価値向上に直結する独自製品を世界中に供給し、人々の食、健康、生命を支えて持続可能な社会の実現に貢献する。

- 農薬 農作物の生産の安定と品質の向上
- 動物用医薬品 愛玩動物との快適生活の実現
- 医薬 医療への貢献

- バリューチェーンを意識した開発・商業化の推進
- 自社技術の錬磨・進化による価値創造加速と成長路線復活
- 主力製品の世界一低コスト製造と顧客への安定供給

新規事業、その他

- 新たな事業ポートフォリオを有する会社へ
- ESGを意識して資源(ヒト・カネ)を投入し、環境にやさしい製品開発の強化
- 2050年カーボンニュートラルへ向けた推進体制の確立

無機化学事業

酸化チタンで培った技術をベースとした新たな価値を創造し、環境ならびに情報化社会を支えて持続可能な社会の実現に貢献する。

- 機能性材料 さまざまな快適を作る
- 酸化チタン さまざまな色彩の提供
- 環境商品 革新と環境保全の両立

- ICT普及や自動車EV化などの社会課題解決に機能性材料で貢献
- 酸化チタンの光学的特性を多様化させて、新たな価値創造を実現
- 生産構造改革により環境負荷低減と生産効率化とを両立



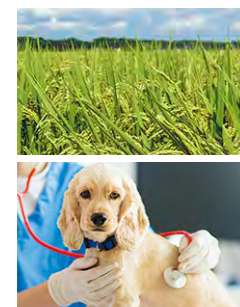
有機化学事業



無機化学事業

世界の食を支える、動物の命を救う

有機化学事業は、除草剤、殺菌剤、殺虫剤などの農薬を主力製品としており、米州、欧州、アジアなどに広がる幅広いネットワークを構築しています。輸出額は国内トップクラスを誇ります。さらに、農薬技術の応用から生まれた動物用医薬品を新たな成長分野に定め、世界主要国での販売開始を目指しているところです。

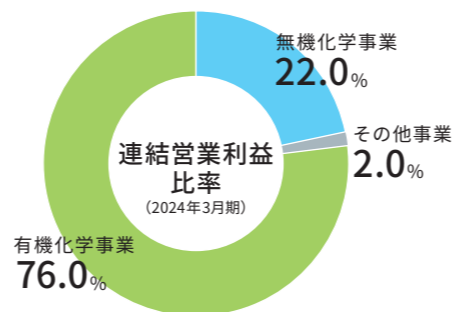
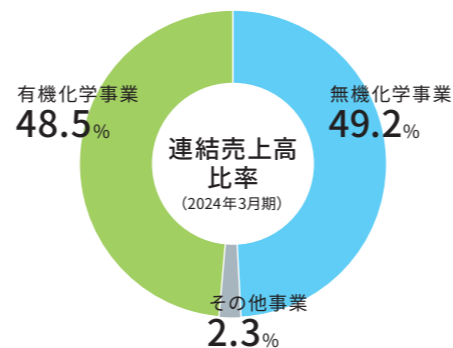


農薬

約70年前、日本で最初に化学農薬技術を導入して以来、化学農薬のパイオニアとして、世界トップクラスの開発力で人と環境に優しい農薬製品をグローバルに提供しています。生産技術のさらなる向上を目指す新研究施設「ひょうご小野研究センター」(兵庫県小野市)を2025年12月に開設します。

動物用医薬品

世界初の犬用抗腫瘍剤「ブレندا®」が主力。既に国内で製造販売を進めているほか、近くアメリカでも完全承認を取得し本格販売に移る見通しです。主原料の「フザブラジブナトリウム水和物」のユニークな作用機序を活用した、他の炎症性疾患などへの用途拡大にも取り組んでいます。



快適でサステナブルな社会の実現に貢献する製品を提供

無機化学事業の主力製品は、電子部品材料や遮熱材料などの機能性材料製品です。また、環境負荷のより低い塩素法*による酸化チタン製造を国内で唯一手掛け、白色顔料として、塗料、プラスチック、インキなどの工業製品や化粧品、化学繊維など幅広い分野に提供しています。

*高度な技術を要し産業廃棄物の排出量が少ない製造方法

機能性材料、酸化チタン、その他化成品

● 電子材料

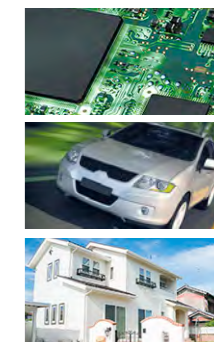
積層セラミックコンデンサの原料である高純度酸化チタンをはじめ、デジタル技術の発展に必要な新規開発材を展開しています。

● 機能性色材

当社の独自材料設計技術を活用した機能性材料(高漆黒顔料・導電性材料・板状チタン酸・化粧品用顔料・超微粒子酸化チタンなど)を展開し、製品ライフサイクルの長寿命化を目指しています。

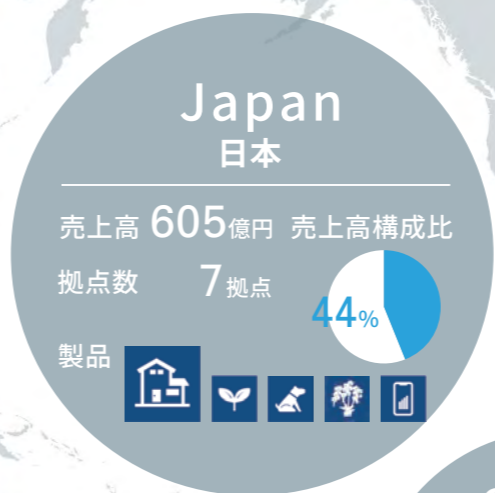
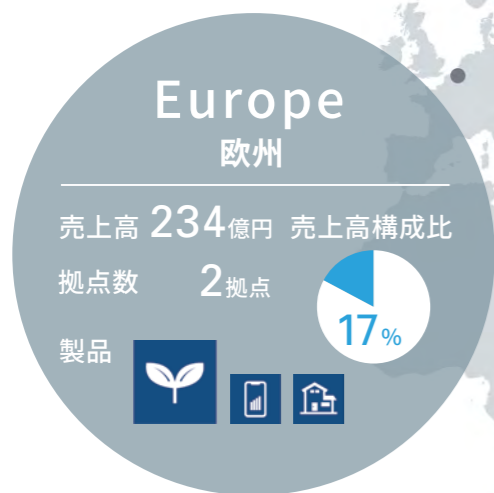
● ファインケミカル

当社のコア事業である顔料用酸化チタン、および高耐候性酸化チタン、化成品、ハスクレイ®といったファインケミカル製品を取り扱っています。



Key Figures

(2024年3月期)



※各区分に属する主要な国または地域

アジア 中国、台湾、韓国、タイ、インドネシア、シンガポール、インド

米州 米国、カナダ、ブラジル、アルゼンチン、メキシコ

欧州 ドイツ、オランダ、フランス、英国、ベルギー、イタリア、東欧および中東地域

その他 オーストラリア、ニュージーランド、アフリカ地域

※主要な製品のピクトグラム(各地域で売上規模の大きい製品を拡大表示)



財務・非財務ハイライト

石原産業とは

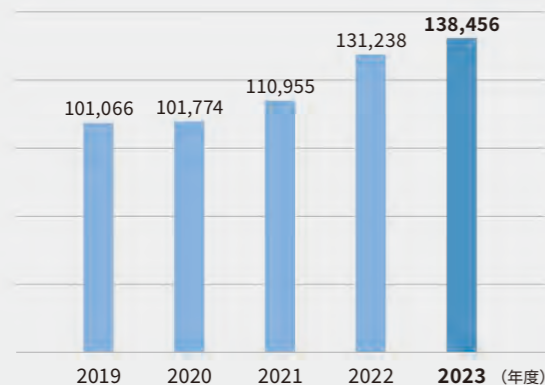
価値創造の戦略

価値創造の基盤

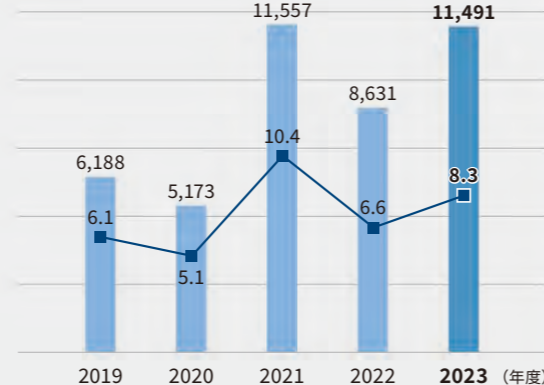
コーポレートデータ

財務ハイライト(連結)

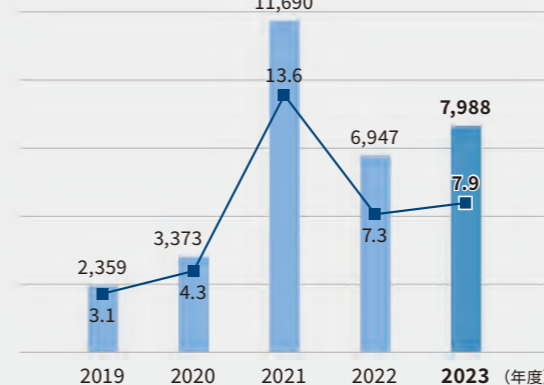
売上高 (百万円)



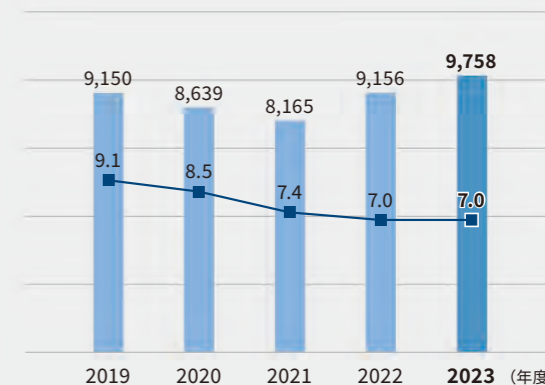
営業利益 (百万円)



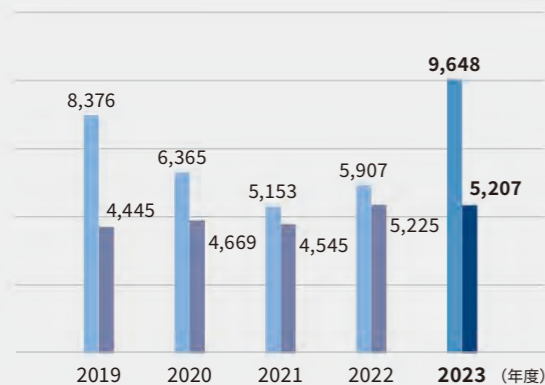
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)



研究開発費 (百万円)

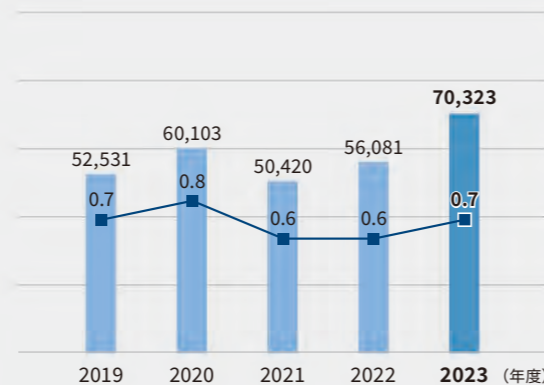


設備投資 (百万円)



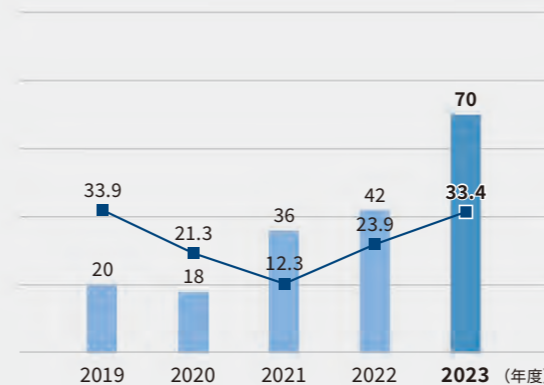
減価償却費 (百万円)

有利子負債残高 (百万円)



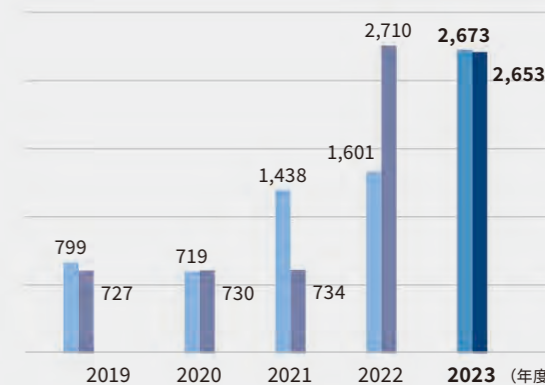
D/Eレシオ (%)

1株当たり配当額 (円)



配当性向 (%)

配当総額 (百万円)

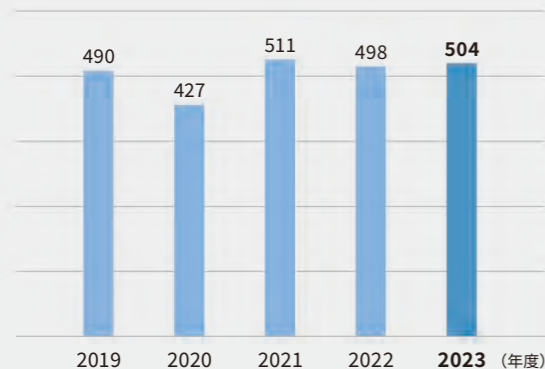


自己株式取得総額 (百万円)

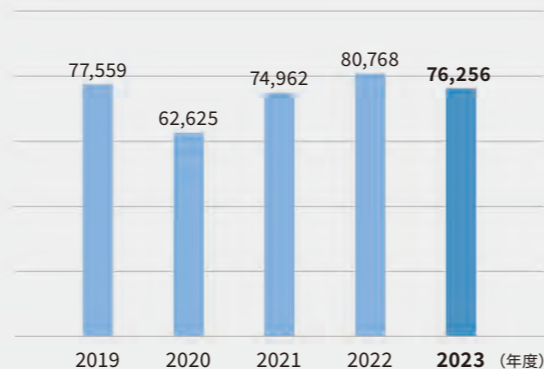
非財務ハイライト

環境

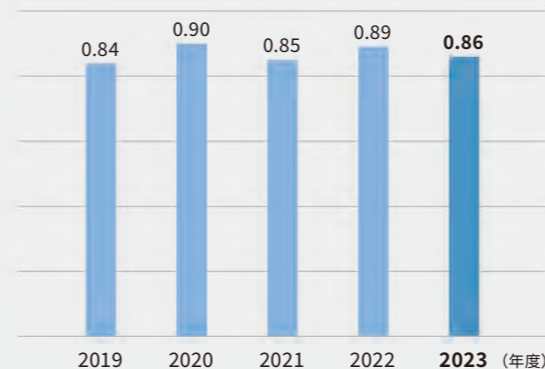
GHG(温室効果ガス)排出量(グループ全体※1)
(千t-CO₂)



産業廃棄物(汚泥)(国内連結※2)
(t)



エネルギー使用原単位(国内連結※2)
(kl/t)



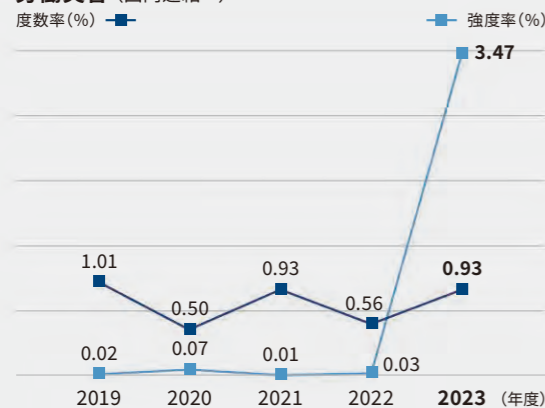
その他

特許保有件数(単体)
(件)

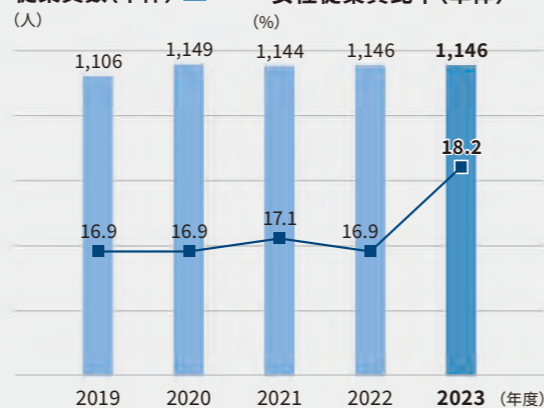


社会

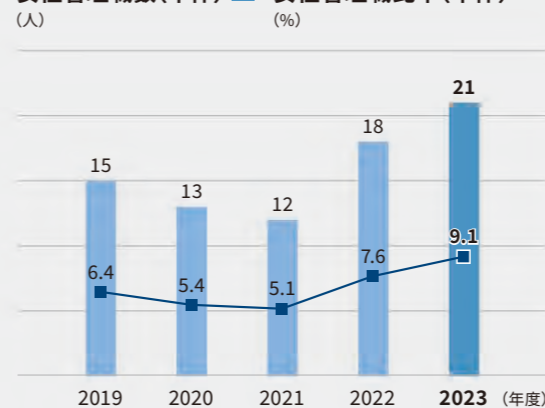
労働災害(国内連結※2)
度数率(%)



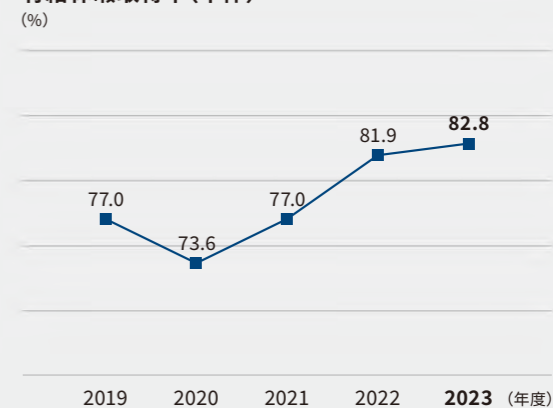
従業員数(単体) 女性従業員比率(単体)
(人) (%)



女性管理職数(単体) 女性管理職比率(単体)
(人) (%)



有給休暇取得率(単体)
(%)



※1 石原産業グループ全体 ※2 石原産業および富士チタン工業 生産拠点のみ

Vision 2030 Stagell

2026目標

営業利益 **190** 億円以上
(想定売上高: 1,600 億円以上)

ROE **10** % 以上

中期経営計画「Vision 2030 Stagell」

独創のための研究・技術
開発力の強化と効率化

グローバル化の加速

ROIC 経営の推進

安定した株主還元継続



有機化学事業

- 研究・技術開発力の強化と効率化
- 新規化学農薬および動物用医薬品などの開発・商品化の促進、拡販
- 農薬の安定供給・製造コスト低減により当社世界市場占有率の拡大
- 他社 M&A や提携推進、他社剤導入による事業規模拡大

無機化学事業

- 研究・技術開発力の強化と効率化による機能性材料の拡販
- 電子部品材料の拡販と生産能力増強
- 新規開発品の市場投入・新規ビジネスの創出によるビジネス拡大
- 無機化学事業の構造改革

経営全般



事業活動とサステナビリティの両立に向けた取り組みの推進

- 環境・社会への貢献
- 人的資本経営の推進
- DX 推進
- コーポレート・ガバナンスの継続・高度化

パーパス・目次

パーパス

化学技術でより良い生活環境の実現に貢献し続ける

このパーパスは、当社グループが長い歴史の中で培ってきた
チャレンジ精神を受け継いだ私たちの存在意義です。

私たちは、暮らしになくてはならないものを社会に提供しています。

農業は、今後も増加する地球の人口の食を支えることに大きく貢献するものです。

酸化チタンは、鮮やかな色彩のある心豊かな生活に欠かせません。

また、PC、スマホ、自動運転、そして電気自動車などに

今後ますます広く用いられるコンデンサ、

ここに使用されるチタン酸バリウムもなくてはならないものです。

私たちの強みは、独自の化学技術力、技術開発力です。

キラリと光るオンリーワンの技術を持っています。それらを活かし、

社会の皆さんが求める価値や製品をお届けすること、

無ければ新たに生み出すこと、これが私たちの生きる道です。

化学技術で世の中の課題を解決し、より良い生活環境を実現していく。

私たちの存在意義はここにあります。事業活動を行う上で私たちは、

このパーパスを全ての基本としています。



目次

石原産業とは

- 01 インTRODクシヨン
- 04 Business in Brief
- 06 財務・非財務ハイライト
- 08 Vision 2030 Stagell
- 09 パーパス・目次

価値創造の戦略

- 10 トップメッセージ ●
- 14 Vision 2030 Stage I 振り返り
- 15 Vision 2030 Stagell 全体像
- 16 Vision 2030 Stagell 目標
- 17 財務本部長メッセージ
- 19 価値創造プロセス
- 20 インプット/アウトプット
- 22 マテリアリティ
- 24 有機化学事業(バイオサイエンス)
- 28 有機化学事業(ヘルスケア)
- 30 無機化学事業
- 34 研究開発活動

価値創造の基盤

- 特集「製剤化」で挑む ●
- 38 知的財産管理
- 39 ステークホルダー・エンゲージメント
- 41 役員一覧
- 43 社外取締役対談
- 45 コーポレート・ガバナンス
- 50 リスクマネジメント
- 52 コンプライアンス
- 53 レスポンシブル・ケア活動
- 54 環境
- 59 社会
- 61 人的資本
- 69 サステナビリティの推進

コーポレートデータ

- 70 財務・非財務サマリー
- 72 石原産業のあゆみ
- 73 会社概要・グループ拠点
- 74 株式情報
- 75 編集方針



トップメッセージ

全ての事業を収益の柱に変え、「Vision 2030」の達成へ

代表取締役社長 大久保 浩



特集「製剤化」で挑む

世界に安全で使いやすい 農薬を届けたい

世界85カ国で農薬を販売している当社。気候や風土、農地の広さも作物も異なる各地の多様なニーズに応えていくためには、多様な製品の開発、農業にさまざまな機能や付加価値を持たせる「製剤化」がカギとなります。当社中央研究所(滋賀県草津市)で製剤研究室を率いる佐野光夫室長に、「製剤化」とはどういうものかを聞きました。